

ご取材のお願い

平成 24 年 12 月 13 日
檜葉町教育委員会
公益財団法人ヤマト福祉財団

福島県檜葉町「檜葉小・中学校中央台仮設校舎」開校式

「あおぞらこども園中央台仮設園舎」開園式の開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第 5 次助成先の一つである檜葉町は、避難中の小中学校及びこども園を避難先のいわき市に建設中の仮設校舎及び仮設園舎が完成するため、12 月 19 日（水）午後 1 時 30 分より開校式、開園式を執り行います。

福島県檜葉町は東日本大震災による原発災害により避難生活を余儀なくされ、町内の二つの小学校と一つの中学校の生徒も区域外での就学を強いられました。しかし檜葉町で共に過ごした同級生や先生との授業を切望する生徒、父兄の要望を受け、平成 24 年 4 月、檜葉町教育委員会が多くの町民が避難している「いわき市」の民間施設を借り受け、101 名の生徒達への授業を再開しましたが、本来の檜葉町への帰還には数年の年月を要します。そこで、現在 142 名にまで増加した生徒達の負担を少しでも軽減し、より良い教育環境を提供するため、平成 27 年 3 月までの間、仮設校舎を建設することを計画いたしました。

ヤマト福祉財団では、檜葉町の帰還後の復興に向けた地域就学環境を早期に改善するため、本年 4 月、仮設施設用地造成費用、仮設校舎設置費用、備品購入費用として総額 1 億 9100 万円の助成を決定しました。

建設先はいわき市の明星大学敷地内で、こども園も併設されました。



(建設された仮設施設全景)



(校舎内施設)



(民間の施設を借りての学校生活)

福島県、東北の復興は途上にあります。檜葉町の避難地域での新たな教育の取り組みが檜葉町の復興のシンボルとなり、町の復興は一步進みます。復興に取り組む檜葉町の現状および、本式典の様子を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

檜葉町教育委員会

担当：教育総務課 鈴木・横田 (0246-25-5563)

公益財団法人 ヤマト福祉財団

担当：早川・渡辺 (03-3248-0691)

記

1. 日時 平成 24 年 12 月 19 日（水） 午後 1 時 30 分開始
2. 場 所 檜葉町小・中学校中央台仮設校舎 体育館
所在地 福島県いわき市中央台飯野 5 丁目 6 番 1 号(いわき明星大学敷地内)
3. 主な出席者（敬称略）
 - (1) 檜葉町 町長 松本幸英
 - (2) 檜葉町 町議会議長 山内左内
 - (3) いわき市 市長 渡辺敬夫
 - (4) 会津美里町 町長 渡部英敏
 - (5) いわき明星大学 学長 関口武司
 - (6) 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富慶二
4. 施設概要
 - (校 舎) プレハブ構造 2 階建て 延べ面積：1629.29 m²
 - (特別教室) プレハブ構造平屋建て 延べ面積：82.35 m²
 - (屋内運動場) プレハブ構造平屋建て 延べ面積：651.85 m²
 - ミニバスケットコート
 - ドッジボールコート
 - バレーボールコート
 - (校庭) 7,800 m² 200M トラック
 - (園舎) プレハブ構造平屋建て 延べ面積：422.78 m²

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。6 月 30 日をもって募金と助成の募集は終了させていただきました。募金につきましては、142 億円 3608 万 1360 円となったヤマトグループの「宅急便 1 個につき 10 円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額 142 億 8448 万 751 円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第 5 次までに助成対象 31 件に対し、総額 142 億 6600 万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。